

❖ 科目名 Course Title			
現代の科学と思想VIa (地理学)			
❖ 担当教員 Instructor			
酒井 多加志			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1
❖ 履修可能人数 Capacity	制限なし	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words			
文化地理学、地域的差異、文化地域、文化伝播、文化生態、文化統合、文化景観			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
地理学という視点を通して、人間世界の見方を学ぶことを本授業の目的にしている。それによって世界についての新しい、有益な見方が得られることが期待できる。			
❖ 授業概要 Course Description			
文化地理学は、言語、食、宗教、経済、行政、その他の文化現象が地域ごとに多様であったり、一様であったりする様相を記述、分析し、人間がいかに空間的に機能するかを説明することに主眼がおかれる。本講義はそれらを説明するにあたり、文化地域、文化伝播、文化生態、文化統合、文化景観の5つの地理学のテーマに従って展開される。これらのテーマは文化地理学の多くの研究方法の一部に過ぎないが、文化地理学の諸概念を学ぶのに非常に有益な手立てになるものと思われる。今年度は言語と宗教を取り上げ、5つのテーマに従って講義を展開していきたい。			
❖ 到達目標 Course Goals			
文化地域、文化伝播、文化生態、文化統合、文化景観の概念について理解できる。 文化地理学の視点から、言語と宗教を捉えることができる。			
❖ 授業計画 Course Schedule			
第1回：オリエンテーション 第2回：文化地理学とは 第3回：文化地理学の5つのテーマ 第4回：文化地理学の5つのテーマ 第5回：言語文化と文化地域 第6回：言語文化と文化伝播 第7回：言語文化と文化生態 第8回：言語文化と文化統合 第9回：言語文化と文化景観 第10回：宗教文化と文化地域 第11回：宗教文化と文化伝播 第12回：宗教文化と文化生態 第13回：宗教文化と文化統合 第14回：宗教文化と文化景観 第15回：まとめ			
❖ 成績評価 Grading System			
○ 出席状況および講義参加状況 (40点) ・ 出席状況 欠席数4回以上で不可となります。各種実習や研究室活動等により欠席する場合は欠席届けを提出して下さい。提出があった場合、欠席数には数えません。ただし、課題レポートを課しますので、課題レポートを提出して下さい。 ・ 講義参加状況 毎回、講義に関する意見や感想、質問を書いてもらいます。その内容に応じて点数化します。 ○ 試験 (配点60点)			
❖ テキスト Textbooks			
テキストは使用せず、毎回資料を配付します。			

❖ 参考書 Reading List
『THE HUMAN MOSAIC』 Longman、『文化地理学入門』 東洋書林
❖ 準備学習 Homework
講義で使用する資料を、事前に配布することがあります。講義開始までに読んでおいて下さい。
❖ オフィスアワー Office Hour
火曜日 2コマ目
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
sakai.takashi@k.hokkyodai.ac.jp
❖ 質問・相談への対応方法 Contact Information
質問等がある場合は、メールを送ってください。メールを送る際は、送信者の氏名と所属大学名、キャンパス名を忘れずに記入して下さい。
❖ 履修上の注意 Notes
❖ 備考 Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外の人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。